

さあ夏休み! いろいろなことに チャレンジしよう!!



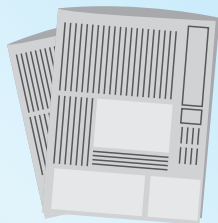
子どもたちが楽しみにしている夏休みがはじまります。

夏休みは、日頃なかなかできないことにチャレンジできる貴重な時間。長い夏休みを有効に使って、子どもたちがひとまわり大きく成長できるよう、ご家庭もアドバイスを!

本を読んで、 自分の思いや考えを表現する

夏休みは多くの本にじっくり向き合えるチャンスです。読書は、表現力や想像力を高め、感受性を豊かなものしてくれます。また、読むだけでなく、感想文を書くことで、自分が感じて考えたことを相手に上手に伝える力が身に付きます。

保護者の方が心に残った本を子どもに紹介したり、子どもと同じ本を読んで感じたことを話し合うのもよいでしょう。



何度もくり返して、 しっかり身につける

子どもたちがわかる喜び、できるようになる喜びを感じることはとても重要です。そして、一度わかったことやできるようになったことを、頭や体にしっかり定着させるためには、何度もくり返すことが大切です。

学校で7月までに学習したことは、夏休みのうちに復習して、つまずきを解消しておきましょう。



毎日続けて、達成感を覚える

理科などの自由研究のテーマがまだ決まっていなければ、毎日継続しなければ完成しない研究をおすすめします。

例えば、植物や昆虫などの成長記録や、天気、気温など気象現象の移り変わりの記録など、毎日継続することで完成させた自由研究は、貴重な資料になるだけでなく、やり遂げた気持ちでいっぱいにさせてくれます。



辞書を引いて調べる

子どもたちは疑問に思うことを調べ、解決することで少しずつ成長します。答えを見つけるためにはたくさんの時間が必要になりますが、夏休みはゆっくりと調べることができるよい機会です。

子どもの手の届く場所に辞書や事典をおき、分からないことがあれば、一緒に引いてみてはどうでしょうか。

「すぐに調べる習慣」はとても大切です。



◆家族と一緒に、楽しく食事を作ろう!食べよう!◆

夏休みに入ると子どもたちが家で過ごす時間がたくさんあります。家族とふれあう時間、何か特別なことをしなくても、夏休みだからこそ家族でできることがあります。

たとえば、一緒に食事を作ったり、野菜を栽培したり。食事をつくるには、献立を考え、買い出し、調理、片付けまでの多くの作業があり、それに子どもたちが少しでもかかわることで、食の大切さや興味・関心など、豊かな心がはぐくまれます。

子どもが自ら考え弁当作りに何か一つでもかかわる「弁当の日」の取組みを学校で始めています。いつも当たり前のように食べている家庭での食事や学校給食を作ってくれる人への感謝の気持ちをはぐくんでいます。

食べることの大切さやマナーなどについて家族で話し合い、楽しく食事をする機会が夏休みにもたくさんもてるといいですね。



どんなときも、子どもをやる気にさせるのは、保護者の皆様の温かい励ましやほめ言葉です。